

研修レポート

名古屋第一赤十字病院 初期臨床研修医 2 年目

4 週間研修をさせていただき、ありがとうございました。

新城では、狭義の医学のみならず、広い意味での医療を学ばせていただきました。

ここで言う「広い意味での医療」というのは、「疾病の治療にとどまらず、介護サービスや生活環境を整え、患者さんの生活全体にアプローチするプロセス」という意味です。新城の研修では、MSW の方に介護保険制度について教えていただいたり、退院前訪問や訪問リハビリに同行させていただいたりしました。日頃の業務では、診察室や ER でしか患者さんと接していなかっただけに、とても貴重な経験となりました。いろいろな経験を積みさせていただいたおかげで、研修後半では、処方への適応はないものの、介護サービスがうまく介入できていない初診の患者さんについて、MSW の方と連絡を取るというアクションを起こすことができました。日赤で研修していたころ、自分のアセスメントは検査と投薬で止まっていたので、成長を実感できた瞬間でした。

もちろん、医学という意味でも、この 1 ヶ月で少しは成長できたように感じます。

日々の外来振り返りでは、診察した患者さんについてプレゼンする機会をいただき、自分の言葉で説明することの不慣れさを痛感しました。定期内服されている薬剤の相互作用など、今まで自分の知識で太刀打ちできなかった領域について喧喧諤々の議論がなされているのを聞くのは、非常に勉強になりました。

新城市民病院の先生方は最新かつ正確な医学知識を得て、最善の医療を提供することに力を注がれていました。毎朝の勉強会のテーマは、日常の臨床で疑問に思っているけれど解決できていなかったことが多く、とても勉強になりました。Up to Date 勉強会は、Up to Date をどう使ったら知識を得られるのか知る、いい機会になりました。EBM 勉強会で教えていただいた論文の解釈方法は、今後医療文献を批判的に吟味するのにあたり非常に大切です。今後とも学んで深めていきたいと感じました。常に最新の医学知識を更新し続けるという、新城の先生方の医学に対する姿勢を見習い、今後活かしたいです。

最後になりましたが、総合診療科の先生方、看護師さん、リハビリスタッフの方々、MSW さん、訪問看護やサマリヤの丘のスタッフの皆様には大変お世話になりました。今回の経験を是非ともこれからの研修に役立てていきたいと思っております。4 週間本当にありがとうございました。